

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月25日

計画の名称	第2期 安心して生き活きと住みつづけることができる五木の里づくり（五木村振興基盤整備計画）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	熊本県												
計画の目標	ダム建設事業に伴う移転などの影響もあり、急激な人口減少が見られる五木村の活性化に向け、村民が安全・安心な暮らしを続けられるとともに、村外からの来訪者との活発な交流による観光振興をも促す道づくりを進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,950	A	2,950	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	五木村内の道路交通網において、快適に走行できる道路の割合（快適道路率）を55.0%（H29）から56.0%（H33）に向上。	H29当初		H33末
	五木村内の道路交通網において、快適に走行できる道路の割合（快適道路率）を55.0%（H29）から56.0%（H33）に向上。	55%	%	56%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
安心して生き活きと住みつづけることができる五木の里づくり（五木村振興基盤整備計画）から継続												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	国道	改築	(国)445(泉～相良パイパス)	パイパス	五木村						2,700		-	
	A01-002	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	国道	改築	(国)445(泉～相良パイパス(宮園))	現道拡幅	五木村						250		-	
												小計						2,950		
											合計							2,950		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 熊本県土木部にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和6年3月
	公表の方法 熊本県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	五木村内の道路整備を推進することで、村民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、人流・物流の効率化による観光振興の支援に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
・ 未完成の事業については、本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し事業を進め、より一層の推進を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	%	効率的・効果的な事業展開により、目標値を達成した。
	最終目標値 56%	
	最終実績値 56%	